

学長のリーダーシップの下、寄附建物「地域デザイン棟」を中心とした新たな地域との交流の場及び学生の学習環境の整備

評価結果

米良（めら）電機産業株式会社（宮崎市）からの寄附申出に対し、学長のリーダーシップの下、産学・地域連携センターがコーディネートを行い、寄附講座「地域デザイン講座」の設置及び「地域デザイン棟」を設立している。「地域デザイン棟」の活用については、経営協議会学外委員の意見を参考に、県内市町村の首長が地域の魅力やビジョンについて語る「宮崎TOPセミナー」の開催など、企業人・地域住民・学生と一緒に学ぶことのできる交流の機会の創出に繋げているほか、大学唯一の365日24時間使用可能な施設として延べ6,329名が利用しており、さらに、産学官連携拠点としての情報交流機能を強化するため、本棟の屋外液晶ディスプレイ（呼称：MIYADAI DISPLAY）を、情報発信ツールとして利用できる制度を平成30年4月より開始している。

参考情報

特筆されるポイント

✓ 地域企業からの寄附に対し、学長のリーダーシップにより新たな地域産学官連携拠点を形成

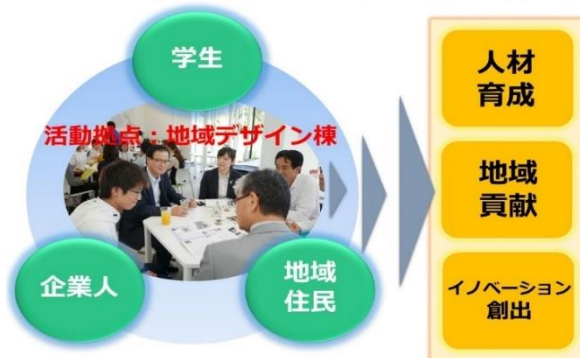
・産学・地域連携センターが寄附使用目的と学内シーズのコーディネートを行い、**寄附講座「地域デザイン講座」の設置及び寄附建物「地域デザイン棟」の設立を実現**

✓ 経営協議会委員の意見を参考にした拠点形成

・経営協議会委員が、地域デザイン棟を地域と教職員、学生の交流の場として活用していくための意見交換を行い、宮崎県内の首長が地域の魅力・ビジョン等を語る「宮崎TOPセミナー」等の創出に繋げている

地域デザイン講座概要

発想のまち～新たな発見、そして応用・飛躍に繋げる場



地域デザイン棟

企業人・地域住民・学生と一緒に学ぶことのできる交流機会の創出



寄附建物:約1億4,300万円
寄附額(事業費):約3,000万円×5年間

大学唯一の**365日24時間使用可能な施設**として、特に学生の自由な活動が促進され、5ヶ月間余りで**延べ6,329名が利用**

宮崎TOPセミナー

